

2016年8月4日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部

実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* (No.B-27)

「女子大生の寄り道事情」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会では、「寄り道事情」についてのアンケート調査（実践『ペルソナ』通信（No.27））の結果をもとに、実践女子大生の7.5割が寄り道をするということについて、調査しました。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* とは、実践『ペルソナ』通信として公表された調査結果をもとに、写真観察を行い、さらに深く実態を考察した調査レポートです。

調査結果

1. 寄り道する場所

【コンビニ】



【本屋】



【カフェ】



【100円ショップ】



【ドラッグストア】



【銀行】



【スーパー】



【居酒屋】



【レストラン】



【レンタルショップ】



2. 寄り道の目的

【買い物】



【買い物】



【暇つぶし】



【暇つぶし】



【食事】



【趣味】(パンケーキ屋巡り)



コンビニ、スーパー、本屋、ドラッグストア、100円ショップ、カフェ、居酒屋など寄り道する場所は様々である。その中でもコンビニや本屋などの買い物目的が多く、短時間で済ませられるような場所であった。

レストランや居酒屋、食事で使用する金額は安価なものが多く、複数人で入店する傾向にある。暇つぶしなどで利用する店は、価格ではなく雰囲気重視し、多少高価なものでも購入していることが分かった。その中でもカフェが多くみられた。友人との時間を過ごすなど、人付き合いで長居をするためと考えられる。

全体的に、1度の寄り道で使用する金額は1,000円から3,000円程度であった。

調査担当

実践「ペルソナ」研究会

3年 池上怜佳

3年 木脇美凧

3年 楚良彩音

3年 根本佳小里

3年 藤倉美由紀